

「このタワーローダーは、車2台分でも軽々と持ち上げることができま〜と紹介してくれたヒラキンの平林実社長と、自動車リサイクル博士



未来の地球のために!

進め! くるまのリサイクル

第1部 使用済みになった車のゆくえ

2 破砕編

自動車リサイクル博士が車のリサイクル現場をたずねる第2回は、車のボディ(車体)を細かく砕くシュレッダーが大活躍する「破砕編」です。解体工場などの前工程でエアバッグやフロンガスが処理され、使える部品が取りはずされた使用済みの車は、ここで再び資源にもどりま〜。金属類を適切に分別する工夫にも注目です。

リサイクルまめちしき

「シュレッダーダスト」もムダなく

めざせ! 再資源化100%

破砕工場で、鉄やアルミニウム、ステンレス、銅などの資源が回収されたあとには、「シュレッダーダスト」と呼ばれるプラスチックやゴムなどのクズが残ります。これらは破砕工場からメーカーなどのシュレッダーダストリサイクル施設に運ばれて処理され、そのほとんどが燃料や原材料としてリサイクルされています。

このシュレッダーダストの



▼プレシュレッダーで砕かれた車体がぞくぞくと押し出されてきます



そこにつけられた14個のハンマーが高速回転して、車をさらに細かく粉々に砕いていきます。平林社長が教えてくれました。

ステップ1 細かく砕く「破砕」

シュレッダーで車体をどんどん細かく

前工程でベシヤンコにプレスされ、破砕工場に運ばれてきた車体のかたまりは、巨大なタワーローダー(大型クレーン)で持ち上げられ、まずプレシュレッダーという機械であらく砕いていきます。ヒラキンでは1時間に100台以上の車をバラバラに砕くことができます。砕かれた車体は、次にベルトコンベヤーのついで、破砕工場の心臓部といえる本シュレッダーへと運ばれていきます。一本シュレッダーには毎分650回転もするドラムがあり、

砕いて分けられ

車のほとんどをリサイクル!



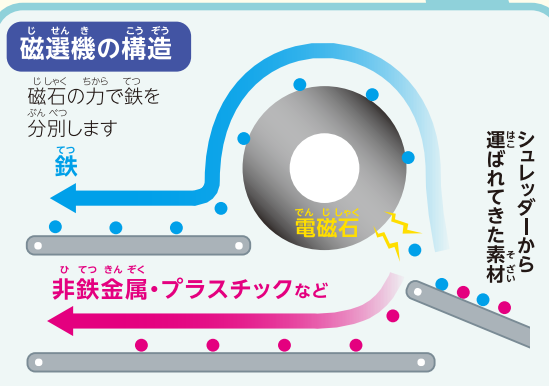
生まれかわる資源!

ステップ2 種類ごとに「分別・回収」

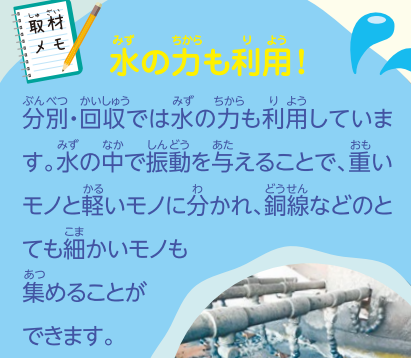
機械による分別。磁石や振動、風力が活躍



▲工場の中では、細かくなった素材がどんどん分けられます



決め手は人の手。熟練の目と手で正確に「磁選機」などで鉄と非鉄金属に分けられた素材を、限りなく品質の高い再生資源に近づけていくのが人による分別です。



水の方も利用!

分別・回収では水の方も利用しています。水の中で振動を与えることで、重いモノと軽いモノに分かれ、銅線などのとても細かいモノも集めることができます。



残ったシュレッダーダストも貴重な資源!

ムダなく資源にもどそう!

倉敷市の破砕工場でも、再び資源にもどすための車体をたくさん積んだ大きなトラックが次々とやってきます。それでは、自動車リサイクル博士と一緒に再資源化の取り組みを見に行きま〜。

こちらにおうかがいしました!

会社名: ヒラキン (リサイクルステージ玉島)

住所: 岡山県倉敷市

おたずねした会社

車や家電などのリサイクル事業で高品質な再資源化に取り組んでいます

<https://www.hirakin.co.jp>



博士のまとめ

使用済みの車は資源の宝庫!

このように、車はそのほとんどがリサイクルされ、たとえば国内で生産される鉄などにも、こうして再資源化された鉄がたくさん使われているんだよ。そして再資源化された原料をもとに新たな製品が生まれ、身のまわりの物や街の建物、道路などに使われているんだ。



さあ、次回は車の「販売店」をたずねよう!

自動車リサイクルをもっとくわしく学べるよ!

JARC 公益財団法人 自動車リサイクル促進センター Japan Automobile Recycling Promotion Center / JARC

<https://www.jarc.or.jp>